

# カリフォルニア州ガーデナ市高校生を連れて

## 海外理解促進のための交流会～生徒の自発的・実践的な学習

暑さの負けず。PTA集会

# すばる新聞

第39号 発行  
市川昇高校  
市川市東国分  
1-1-1  
047-371-2841

8月2日(金)市川市の姉妹都市カリフォルニア州ガードナ市の高校生が来校するのに合わせ、本校の部活動の演奏や生徒の交流会の様子を地域住民の方々に公開するとともに、学校の教育活動状況に関して率直な意見や感想を頂く機会とした。

合唱部10名、ダンス同好会約80名、吹奏楽部約50名、総勢140名近くの本校生徒による演奏や発表をカリフォルニア州ガードナ市の高校生や引率、関係者25名と地域住民や保護者65名の前で披露した。ガードナ市高校生は、食い入るようにパフォーマンスを見ていた。「自治会行事などでも、



パフォーマンス見聞

それぞれの部や同好会が歌・ダンス・演奏を披露してくれています。(地域)、「多くの生徒が関わり、参加できる機会にしたい」

(保護者)、「おもてなしの姿に一生懸命さが伝わる交流会だった」(実行委員)などのご意見を頂き、日程を終了した。



すっかり仲良し

# 上海リポート

7月21日(日)～28日(日)の7泊8日の日程で、柴田校長先生引率のもと、3年生の阪東さん、山田さんの2名が上海市工商外国語学校のサマーキャンプに参加した。連日38度を超える酷暑と多湿の中、地元中国をはじめ、韓国、ロシア、スペインの各学校が参加しての行事となった。サマーキャンプの主たるプログラムとしては、中国文化の紹介として、太極拳・書道・中国語・文化について学ぶ。参加各国の紹介、そして、上海学生の家庭訪問など盛りだくさんの内容であり、各国の生徒同士のコミュニケーションやプレゼンテーション能力開発にも力をおいたものであった。当初参加生徒は、戸惑い、失敗をしながら、徐々にコツやタイミングをつかみ、疲れも忘れ、元氣よく、そして満足げな顔で帰国してくれた。今後も一人でも多くの生徒に自信とグローバル人材育成につながる体験をさせていきたい。



書いた書を持ち記念撮影



上海市工商外国語学校

# 平和願う 祈り届け

8月15日(金)の「終戦の日」、市川駅などで市ユネスコ協会主催の行事「平和の鐘を鳴らそう」があり、高校生約50人が参加した。正午と午後1時の2回、一人一人が世界平和を願って鐘を鳴らし、高らかに響かせている。本校のボランティア同好会の6人も駅の改札口に立ち、鐘の音で平和を祈った。3年生の稲葉翼君は「平和

# 中学生の1日体験入学

7月26日(金)に第1回目の「1日体験入学」を実施した。中庭で吹奏楽部の演奏を受けながら、昇高校にやってきた中学生たちは、ちよっと緊張した面持ちだったが、「入学者選抜について」、「学校生活について」、「進路状況について」などの説明に聞き入り、その後、「授業体験」、「部活動見学」、「校舎内見学」など、自分の興味関心に応じた体験に書さも忘れ熱心に見入っている姿が印象的であった。この体験入学も年々参加者の数を増し、今年第1回の参加者は610名を数えた。第2回目も同内容で実施される。煌めきを発揮する昇の4期生としての入学が大いに期待されることである。



歓迎モードにびっくり



# 昇広報部隊



昇は 必ず 報わられる

8月3日(土)、4日(日)の募張メッセの進学フェアでも多くの進学相談があり、盛況だった。市川昇高校は受検生の夏を応援します。

の大きさを学びました。来年も参加したいです」と話した。(8月16日朝日新聞朝刊「ちば首都圏版」より一部記事引用)